

## 【新規設定コース】 技能・技術実践研修カリキュラム

コース番号	コース名	期 間	定員	日数
1828	【通信活用研修】 技能五輪国際大会の概要B ー全国大会との違いー	【集合研修日】 令和3年9月7日(火)	30	2 (集合1)
開催会場	オンライン(各施設)	技能・技術分野	共通	
		技能・技術レベル	—	
		技能・技術要素	—	
研修のねらい 及び 到達目標	<p>本研修では、技能五輪国際大会について技能五輪全国大会との運営方法・競技課題・競技規則・採点方法など様々な違いについて解説し、技能五輪国際大会とは何か、を習得します。さらに、全国大会との「競技課題の整合化」について、どのように取り組むべきかを詳しく解説します。</p> <p>(到達目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技能五輪国際大会に基本的知識を理解できる</li> </ul>			
最低限 必要な知識				
研 修 内 容	項 目 (予 定)		講義	実技・演習
	【通信活用研修】 本研修は通信活用研修となっており、集合研修終了後の事後課題については集合研修後2週間以内にPTU研修課に提出いただきます。 事後課題は通信によるレポート等でフィードバックが行われます。			(6) H
	1	技能五輪国際大会とは何か (1) 技能五輪国際大会の歴史 (2) 最新の技能五輪国際大会の現状と日本選手団の成績 (3) 競技規則/職種定義/WSOS/CIS (4) 採点法の違い (5) 評価基準の違い (6) エキスパート・指導者・関係者の役割	2 H	
	2	技能五輪国際大会へ参加を目指すために準備すべきこと (1) 参加のために検討しておくべきこと(社内、社外環境) (2) エキスパート・指導者の計画的育成	2 H	
	3	どのような選手を育成すれば好成績を残せるのか	1 H	
4	競技課題の整合化とは何なのか (1) 本当の目的は (2) 本当に整合化が必要か	1 H		
			6 H	6 H
リニューアル の概要 及びアピール ポイント	本研修は、通信活用研修です。事後課題を提出いただき、その評価結果と集合研修6時間の受講により修了要件を満たします。本研修では、技能五輪国際大会について基礎から最新までを網羅し、必要な知識を一通り網羅することができます。			
研修成果が 活用できる 職務	職務1	職務2	職務の内容	
	.....	.....	.....	
	.....	.....	.....	
担当教員 (ユニット)	菊池 拓男、 外部講師 (情報通信ユニット)			
使用する機器 等				
受講者が用意 するテキスト (予定)				